

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ふれんず	公表日	令和8年2月27日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・活動内容に応じたスペースを確保している(作業スペース・運動スペース・休憩スペース等)。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・定員等を考慮のうえ、配置数を確認することを毎日おこなっている。	・活動運営や支援の質をさらに安定させるための人材養成
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・場所の用途やルール等が理解しやすいよう情報の視覚化を図っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎活動前に、清掃・消毒を行っている。 ・毎活動前に、活動に応じた調整を図っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・毎活動前に、起こりうる様々な状況を想定し、シミュレーションをおこなうことで備えている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・毎週、非常勤の職員も含めたミーティングをおこない、現場の課題等を話し合っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・上記ミーティングにて、評価表を取り扱っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・個々の職員の意見から現場の課題を洗い出している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・未実施である。	・第三者委員会設置の検討
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・毎月1回以上、研修や勉強会を実施している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・ホームページで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・放課後等デイサービスのガイドラインを踏まえ、ケアマネジメント等を活用しながら実施している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・複数職員で個別支援計画を検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・全職員に対し、個別支援計画を共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・ケアマネジメント等を活用しながら、家庭・学校等と連携しながら実施している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・個別支援計画の作成に際し、ガイドラインとの照合をおこない、必要な設定がなされていることを確認している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・ミーティング等を通じ、様々な職員の意見を収集し、活動プログラムに反映させている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		同上	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別支援計画の作成に際し、こどもの状況に応じた支援方法を検討している。 ・こどもの状況に応じ、活動や支援の内容を調整している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援開始前にミーティングを実施し、支援内容等を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後にミーティングを実施し、振り返りや業務改善を実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援終了後に実施し、ミーティングでその完了を確認している。	・より効率的な遂行
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的にモニタリングをおこない、個別支援計画の見直しを図っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・ガイドラインに基づいて、個別支援計画を作成している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・こどもを主語に置いた支援を方針に据えている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・こどもの状況をよく理解した者が参画できるよう、各種会議を踏まえたシフト調整をおこなっている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・学校や相談支援事業所等と連携しながら支援を進めている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・送迎等を活用しながら、学校との情報共有を図っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・アセスメントを通じ、交流を図っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・必要に応じ、情報を提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	・設けていない。	・スーパーバイズ等の機会創出
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・近隣の公園や市民センター等の利用を通じ、地域のこどもと交流している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	・参加できるときにしている。	・参加時間の捻出に向けた事務時間の削減
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・こどもの送り迎え時のやりとりや面談を通じて、情報の共有や理解の統一を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・保護者向けの勉強会や親子参加イベント等を実施している。	
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・保護者にとってわかりやすい説明を心掛けている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・日々のやり取りや面談等で、ヒアリングを実施している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・左記のとおり実施している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・左記のとおり実施している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・勉強会等を実施し、保護者同士やきょうだい同士が交流する機会を設けている。	・保護者ニーズを、より反映させた運営
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情解決体制を構築し、周知している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・口頭での発信のみである。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・研修を実施し、全職員が漏れなく対応できるよう準備している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・本人および保護者に対し、あらかじめ配慮事項の聞き取りをおこなっている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・地域の商店利用等、地域と接点を生じるプログラムを盛り込んでいる。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・事故防止マニュアル等を作成している。 ・応急救護訓練等を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPを作成している。 ・避難訓練を定期的におこなっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・保護者に必ず確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者にあらかじめ確認したとおりに実施している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・定められた安全計画に基づき、支援を提供している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・安全計画に基づく取組を周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・毎月ヒヤリハットを集計し、内容確認を図り、予防的な取組に展開している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・定期的に研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・現在、身体拘束をおこなう想定の方策等放課後等デイサービス計画にはない。		